

種目【音楽（器楽合奏）】（1/1）

調査の方法	17 教出	27 教芸																																																																
<p>1－（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるための合奏や楽器の分量はどのようであるか。 「歌唱、創作、鑑賞」と器楽との関連はあるか。また、それらの分量はどうか。 	<p>■基礎的な演奏の技能を確実に習得させる学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 手元、口元の写真を大きく示し、生徒自身が確かめながら技能を身に付けることができるように促している。 「まとめの曲」が設定されている。(例) 尺八 p24・25 <p>■リコーダーはアルト (A) とソプラノ (S) どちらを用いても、また併用でも実態に応じて学習が展開できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ソロで演奏する曲 <table border="1" data-bbox="537 515 1137 587"> <tr> <th>Sのみ</th> <th>Aのみ</th> <th>どちらでも演奏可能</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>16</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> アンサンブル曲 <table border="1" data-bbox="537 620 1137 716"> <tr> <th>SとA</th> <th>AとA</th> <th>AとA、SとA どちらでも演奏可能</th> <th>SとS、AとA どちらでも演奏可能</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>■鑑賞との関連を促す学習 (例) 「聴いてみよう」 p17、50</p> <p>■創作との関連を促す学習 (例) 「音のスケッチ」 p42</p>	Sのみ	Aのみ	どちらでも演奏可能	計	2	8	6	16	SとA	AとA	AとA、SとA どちらでも演奏可能	SとS、AとA どちらでも演奏可能	計	2	1	2	0	5	<p>■基礎的な演奏の技能を確実に習得させる学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽器の演奏を聴き、楽器の音色の魅力を感じ取ったり、文化的背景を知ったりして学習をスタートさせている。 楽器に関する知識や技能に関する項目が設けられている。(例) 尺八 p66・67 <p>■リコーダーはアルト (A) とソプラノ (S) どちらを用いても、また併用でも実態に応じて学習が展開できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ソロで演奏する曲 <table border="1" data-bbox="1164 548 1765 620"> <tr> <th>Sのみ</th> <th>Aのみ</th> <th>どちらでも演奏可能</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> アンサンブル曲 <table border="1" data-bbox="1164 653 1765 749"> <tr> <th>SとA</th> <th>AとA</th> <th>AとA、SとA どちらでも演奏可能</th> <th>SとS、AとA どちらでも演奏可能</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>■創作との関連を促す学習 (例) 「My Melody」 p49</p>	Sのみ	Aのみ	どちらでも演奏可能	計	0	3	7	10	SとA	AとA	AとA、SとA どちらでも演奏可能	SとS、AとA どちらでも演奏可能	計	0	2	1	2	5																												
Sのみ	Aのみ	どちらでも演奏可能	計																																																															
2	8	6	16																																																															
SとA	AとA	AとA、SとA どちらでも演奏可能	SとS、AとA どちらでも演奏可能	計																																																														
2	1	2	0	5																																																														
Sのみ	Aのみ	どちらでも演奏可能	計																																																															
0	3	7	10																																																															
SとA	AとA	AとA、SとA どちらでも演奏可能	SとS、AとA どちらでも演奏可能	計																																																														
0	2	1	2	5																																																														
<p>1－（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等を育むためのどのような内容や活動が取り上げられ、構成・配列・分量はどのようであるか。 	<p>■課題解決に向けた見通しのある学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽的な見方・考え方を働かせながら学習を展開できるように、音楽を形づくっている要素の「音色」を手がかりに、吹く楽器と弾く楽器についての共通性と固有性を考える場を位置付けている。(例) 「何が同じで、何が違う」 p26、52 	<p>■課題解決に向けた見通しのある学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽的な見方・考え方を働かせながら学習を展開できるように、音楽を形づくっている要素を手がかりに、表現を工夫していくための学習の流れや、生徒の気付きと理解を促す吹き出しがある。(例) 「深めよう！音楽」 p11、13、15 																																																																
<p>2－（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習意欲を喚起するための教材や学習活動はどのようであるか。 学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感することができるようにする上で、どのような特徴があるか。 	<p>■学習意欲を喚起したり学びを生かしたりする教材</p> <ul style="list-style-type: none"> アンサンブルを「Let's Play!」と「Let's Try!」の難易度に分けて掲載したり、ソロで演奏できる曲を掲載したりしている。 「Let's Play!」(アンサンブル) <table border="1" data-bbox="537 1163 1137 1234"> <tr> <th>リコーダー</th> <th>篠笛</th> <th>箏</th> <th>太鼓</th> <th>雑耍球</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>6曲</td> <td>1曲</td> <td>1曲</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8曲</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「Let's Try!」(アンサンブル) <table border="1" data-bbox="537 1267 1137 1339"> <tr> <th>リコーダー</th> <th>篠笛</th> <th>箏</th> <th>太鼓</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>5曲</td> <td>0</td> <td>5曲</td> <td>1曲</td> <td>3曲</td> <td>14曲</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「名曲旋律集」(ソロ) <table border="1" data-bbox="537 1369 1137 1440"> <tr> <th>リコーダー</th> <th>篠笛</th> <th>箏</th> <th>太鼓</th> <th>三味線</th> <th>ギター</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>8曲</td> <td>0</td> <td>1曲</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1曲</td> <td>10曲</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 奏者からのメッセージや楽器と関わりのある伝統芸能などが紹介されている。(篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓) 	リコーダー	篠笛	箏	太鼓	雑耍球	計	6曲	1曲	1曲	0	0	8曲	リコーダー	篠笛	箏	太鼓	その他	計	5曲	0	5曲	1曲	3曲	14曲	リコーダー	篠笛	箏	太鼓	三味線	ギター	計	8曲	0	1曲	0	0	1曲	10曲	<p>■学習意欲を喚起したり学びを生かしたりする教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだことを生かし学習できるアンサンブルや、ソロで演奏できる「楽器でMelody」で、クラシック曲からポップスまで、幅広いジャンルの曲を取り上げている。 「アンサンブル」 <table border="1" data-bbox="1164 1174 1765 1339"> <tr> <th>リコーダー</th> <th>リコーダーとギター</th> <th>ギター</th> <th>ハンドクラップと旋律楽器</th> </tr> <tr> <td>8曲</td> <td>1曲</td> <td>2曲</td> <td>1曲</td> </tr> <tr> <th>打楽器</th> <th>太鼓</th> <th>三味線と太鼓</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1曲</td> <td>1曲</td> <td>1曲</td> <td>15曲</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「楽器でMelody」(ソロ) <table border="1" data-bbox="1164 1372 1765 1443"> <tr> <th>リコーダー</th> <th>篠笛</th> <th>箏</th> <th>三味線</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>5曲</td> <td>1曲</td> <td>2曲</td> <td>1曲</td> <td>9曲</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 奏者からのメッセージや楽器と関わりのある伝統芸能などが紹介されている。(箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八) 	リコーダー	リコーダーとギター	ギター	ハンドクラップと旋律楽器	8曲	1曲	2曲	1曲	打楽器	太鼓	三味線と太鼓	合計	1曲	1曲	1曲	15曲	リコーダー	篠笛	箏	三味線	計	5曲	1曲	2曲	1曲	9曲
リコーダー	篠笛	箏	太鼓	雑耍球	計																																																													
6曲	1曲	1曲	0	0	8曲																																																													
リコーダー	篠笛	箏	太鼓	その他	計																																																													
5曲	0	5曲	1曲	3曲	14曲																																																													
リコーダー	篠笛	箏	太鼓	三味線	ギター	計																																																												
8曲	0	1曲	0	0	1曲	10曲																																																												
リコーダー	リコーダーとギター	ギター	ハンドクラップと旋律楽器																																																															
8曲	1曲	2曲	1曲																																																															
打楽器	太鼓	三味線と太鼓	合計																																																															
1曲	1曲	1曲	15曲																																																															
リコーダー	篠笛	箏	三味線	計																																																														
5曲	1曲	2曲	1曲	9曲																																																														
<p>2－（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返しの学びや補充的な学び、発展的な学びなど、生徒一人一人の多様な学びに応じた工夫がどのようにされているか。 	<p>■二次元コード (見る:26点、聴く:9点、知る:5点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 音や奏法を確認することができる。 	<p>■二次元コード (7点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 奏者や楽器について調べたり、演奏会の様子を視聴したりできる。 																																																																
<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを味わえるような内容や教材はどのようなものを取り上げられているか。 和楽器の指導について、どのような内容を取り上げているか。 	<p>■和楽器を取り上げているページ数と教材曲数</p> <table border="1" data-bbox="537 1728 1137 1824"> <tr> <th>篠笛</th> <th>尺八</th> <th>箏</th> <th>三味線</th> <th>太鼓</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>6p</td> <td>2p</td> <td>8p</td> <td>8p</td> <td>6p</td> <td>30p</td> </tr> <tr> <td>5曲</td> <td>1曲</td> <td>3曲</td> <td>2曲</td> <td>9曲</td> <td>20曲</td> </tr> </table> <p>■表現活動を通して我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わう学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 箏では、押し手、裏連、かき手の3つの奏法を取り上げている。 口唱歌による記載がある楽器 <table border="1" data-bbox="537 1992 1137 2063"> <tr> <th>篠笛</th> <th>尺八</th> <th>箏</th> <th>三味線</th> <th>太鼓</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> </table>	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	計	6p	2p	8p	8p	6p	30p	5曲	1曲	3曲	2曲	9曲	20曲	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	計	1	1	2	5	1	10	<p>■和楽器を取り上げているページ数と教材曲数</p> <table border="1" data-bbox="1164 1728 1765 1824"> <tr> <th>篠笛</th> <th>尺八</th> <th>箏</th> <th>三味線</th> <th>太鼓</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>4p</td> <td>3p</td> <td>10p</td> <td>6p</td> <td>6p</td> <td>29p</td> </tr> <tr> <td>3曲</td> <td>1曲</td> <td>4曲</td> <td>1曲</td> <td>1曲</td> <td>10曲</td> </tr> </table> <p>■表現活動を通して我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わう学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 箏では、かき爪、割り爪、押し手、押放、引き色、合せ爪の6つの奏法を取り上げている。 口唱歌による記載がある楽器 <table border="1" data-bbox="1164 1992 1765 2063"> <tr> <th>篠笛</th> <th>尺八</th> <th>箏</th> <th>三味線</th> <th>太鼓</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> </table>	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	計	4p	3p	10p	6p	6p	29p	3曲	1曲	4曲	1曲	1曲	10曲	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	計	3	1	2	1	2	9				
篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	計																																																													
6p	2p	8p	8p	6p	30p																																																													
5曲	1曲	3曲	2曲	9曲	20曲																																																													
篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	計																																																													
1	1	2	5	1	10																																																													
篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	計																																																													
4p	3p	10p	6p	6p	29p																																																													
3曲	1曲	4曲	1曲	1曲	10曲																																																													
篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	計																																																													
3	1	2	1	2	9																																																													
<p>4－（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさ、厚み、重量など、生徒の発達段階に応じたものになっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きさ 257×210 (A B版) 106 ページ 重さ 221g 	<ul style="list-style-type: none"> 大きさ 257×210 (A B版) 106 ページ (巻頭・巻末にページを振っている。) 重さ 219g 																																																																
<p>4－（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽譜の大きさ、示し方、フォントの種類や大きさなど、誰もが読みやすいものになっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 口元、手元、姿勢の写真を掲載している。 ユニバーサルデザインフォントを使用。 箏の縦譜は「五線譜」と「生田流の縦譜」が用いられている。縦譜の背景は白が基調である。 	<ul style="list-style-type: none"> 口元、手元、姿勢の写真を掲載している。 ユニバーサルデザインフォントを使用。 箏の縦譜は「五線譜」と「家庭式縦譜」が用いられている。縦譜の背景はページユが基調である。 																																																																
<p>4－（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次、索引、巻末資料等は、どのような特徴があるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 管楽器、弦楽器、打楽器のまとまりが見えるよう配置している。 「いろいろな用語、記号」として、速度、強弱、反復、階名・音名を取り上げている。 速度、強弱は、濃淡の図で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 縦向きに揃えてページを表示している。 「音楽の約束」として、音符と休符、速度、演奏の仕方、音高、強弱、反復を取り上げている。 「楽器の図鑑」として、和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器、世界の諸民族の楽器を掲載している。 																																																																